

# 少女の失敗ファイル/創刊号 FILE.01

～社会科見学バスで腹を下した美少女～

## ◇少女プロフィール

氏 名：有沢 瞳 Hitomi Arisawa

学 年：中学2年生

身 長：162cm

体 重：51kg

血液型：AB型

部活動：女子バスケットボール部

発 育：S

備 考：文武両道の優等生で、容姿は学年の中でも特に大人びており、その凛とした顔立ちに清潔感のあるポニーテールが印象的な、校内でも一二を争う正統派美少女。

---

## 【本編】

グルル…

#瞳

「んっ…」

(や、やばい…うんちしたくなってきちゃった…さっきサービスエリア出たばかりなのに…)

ギュルギュル…ゴロロ…ゴポポポ…

#瞳

「はぁ…」

(お、お腹…痛い…この感じ…下痢しちゃってるかも…)

(なんか変なもの食べたかな……あ、もしかしたらお弁当が傷んでたのかも…！そういえば今日のお弁当、保冷剤入ってなかったよね…朝お母さんが出してきたヨーグルトも賞味期限ギリギリで、少し酸っぱかったような気がしたし…)

(それに今日まだ一回もしてなかったな…なんかお昼食べた後から、お腹変な感じがしてたけど…よりもよってこんな時に…)

(どうしよう…学校に着くのって4時ごろだよな……まだ1時間以上ある……我慢、できるかなあ…)

(まだ、余裕はあるけど…これ以上キツくなったら、やだなあ……しばらくしたら引いてくれるかな…)

\*  
\*  
\*

ギョル…ギョルギョル…グルルル…

# 瞳

「ふーっ…ふーっ…んうう…」

# 綾香

「ちょっと瞳？大丈夫？？」

# 瞳

「…え…あ…う、うん…大丈夫…」

# 綾香

「汗めっちゃヤバイよ？…それに、顔色もすごい悪いし…お腹痛いの？…」

# 瞳

「…うん…さっきから、急に…お腹、痛くなってきて…と、トイレ…トイレ行きたい…」

# 綾香

「え？…トイレって…もうこの先って学校帰るだけだから、トイレ休憩ってなかったよね……もしかして、ピーピーな感じ？」

# 瞳

「…う…うん……どうしよう…」

# 綾香

「えっと…予定では、学校到着が…16時だから…あと50分くらいか…我慢できそう？」

# 瞳

「…んんっ…わ、わかんない…もう、結構やばい…かも…」

# 綾香

「なら先生に言ってみる？どこかトイレに寄ってくれるかも…」

# 瞳

「…んううう……でも…みんなに、迷惑…だよな…」

# 綾香

「でももおヤバイんでしょ？それしかない？」

# 瞳

「ふううっ…で、でもっ……んんんっ…！」

ギョルルルルル…

# 綾香

「ほら、絶対学校まではムリだって…もう見てられないよ…わたし先生に言ってくるね」

# 瞳

「あっ…いや、ちょっ……はああ…んうう…」

\*  
\*  
\*

#担任女教師  
「有沢さん、大丈夫？」

#瞳  
「あ…はい…」

#担任女教師  
「いま運転手さんに言ったら、この先は高速を下りるまでは停まれるところがないけど、下りたら近くにトイレのある公園があるから、大体あと…2、30分はかかるみたいだけど、大丈夫？我慢できる？」

#瞳  
「…はい…すみません……が、我慢します…」

#担任女教師  
「もし、本当に無理そうなら、バケツとかもあるから…恥ずかしいでしょうけど、我慢できなくなったら言ってね」

#瞳  
「…はい……まだ…大丈夫、です…」  
(バケツなんて、冗談じゃない…そんなのに、できるわけないよ…我慢…あと30分…なんとか、我慢しないと…)

\*  
\*  
\*



グルルル…ゴポポ…

#瞳

「ふーっ…ふーっ…んうう…っ…」

(あ、あと…15分…くらい、かな……お願いっ…早くしてっ…お腹、痛い…早くっ、うんち、出した  
い…早く…早く、トイレっ…)

#綾香

「頑張って、もうちょっとだよ…高速下りたらすぐトイレ行けるから…」

ギュルッ、ギュルルルルッ、グピィィ…

#瞳

「ふっ……んうっ…んんんっ…う…あ…」

(あああっ…ダメだっ、漏れ、るう……もう…我慢、できないっ…かも……お、お尻の、穴が…勝手に、ひらいて…水っぽいのが…もう、出ちやいそうう…)

「んううっ………はあ…はあ…」

(もう…先生に言って、やっぱり、バケツに……でも…やっぱムリだあ…こんな所でっ…バ、バケツ  
に…なんて……音とか…ニオイだって……そんなのっ…恥ずかしくて…死んじゃう……やっぱり、  
我慢…我慢しなくちゃっ…あと…10分と、ちょっとなんだからっ…我慢…我慢っ…できるっ…絶  
対…バケツになんか、するもんかっ…)

グブ…グブプププ…

#瞳

「う…」

(お…おなら、出そう……出しちゃったら、少しは…楽になるかも……でも…絶対…臭う、よね…  
…けど…す、少し…だけなら…)

「んっ…」

プスウウウウー…

#瞳

(やだっ、結構出ちやった………うっ…やっぱり…すごく臭い…ごめんなさいごめんなさいごめん  
なさいっ…！)

#綾香

(うっ…く、くっさい……これ、瞳のオナラ…だよね？…まさか、漏らしたとかじゃ…！？)

「…瞳…大丈夫？…」





# 瞳

「…ごめん……お、おなら…出ちゃった…」

# 綾香

「…そっか…ぜ、全然大丈夫だよ？…気にしないで、楽になるならいっぱい出して？…」

# 瞳

「う、うん…あり、がと…」

ギュルルルツ…グプツ…ギュピイーーーーツ…

# 瞳

「うっ…んんんう～っ…」

(やばいっ…またきたっ…！ああダメっ、漏れるっ…！うんち、出るでるでるでるっ…！！お願いっ、まだ出ないでっ…！)

「ふーっ、ふーっ、ふーっ…んんっ…！」

スササツ…《両手でお尻を押さえる衣擦れ音》

# 綾香

「瞳！？…」

# 瞳

(まだ、ダメっ…！出るなっ、出るなっ出るなでるなっっ…！！お願いっ…早く治まって……もう、お尻の穴押さえてないと…全部でちやいそうっ…！！)

(あっ、出るっ、あっ あっっ…！)

…ブイツ……ブツ、ブピイイ～ツ…

# 瞳

「んんんあっ……はあっ、はあっ、はあ…はあ…」

# 綾香

「ちょっと、大丈夫？……」

「先生、まだ高速下りられないんですか？？…」

# 担任女教師

「そうねえ…もうちょっとで出口だと思うんだけど……あと5分くらいかしら…」

「有沢さん、あとちょっとで着くから、頑張って」

# 瞳

「はあ、はあ……はい…」

# 担任女教師

「ダメそうならバケツここに置いておくから、いつでも使っていいからね」

# 瞳

「はあ、はあ…コクツ、コクツ…」

# 担任女教師

「はい、前にいる男子はみんな後ろに移ってー！」

# 男子生徒達

「……………」

ゾロゾロ…

# 綾香

「瞳、もうすぐだよ、頑張れ！」

ギュルルル…ゴポゴポツ…グルピィ～…

# 瞳

「ふーっ…ふーっ…んん～っ…あ…あ…」

(早く～っ…！早く着いてっ…もう出ちゃう…！ゲリがっ…漏れるうっ…！！)

\*  
\*  
\*





【本ルート】

#瞳

「ふうううっ…ううっ…！」

プスッ…プススススス…ブイイッ…！

#瞳

「ふーっふーっ、うああ…」

(あああッダメえ…みんないるのにつ…お、おならが…止まらないっ…！)

#綾香

「瞳、高速下りたよ！もうちょっと、もうちょっとだから…頑張れ！」

#瞳

「はあはあ…ふうううっ…」

(もうちょっと…あと、少いでっ…トイレ、行けるっ…トイレで、思いっきり…うんちできるっ…早く…早くっ早くっはやくはやくうっ…！)

プっ…プリュっ…ギョルルルルル…ビュッ…

#瞳

「う、ふうーっふうーっ…！んんっ…！」

(やばいっ…！ちょっと出た、かも…早くう…！なんでもいいからお願いっ早くしてっ…！！出ちゃうっ！もうお尻に、力がっ…！！)

#担任女教師

「見えたわ、公園よ」

「有沢さん、もう着くから、あとちょっとだけ我慢よ」

#瞳

「ふうーっふうーっふうーっ…」

(まだ我慢…がまんっ、しなきゃっ…！もうすぐっ、できるからっ…トイレっ、行けるからあっ…！まだっ出るなっ、出るなっでるなでるなあ…！あっ、あああ…っ…！)

ブウリッ！…プリリリリッ…

プシュー、ガタン…《バスの扉が開く音》

#担任女教師

「着いたわよ」

#瞳

「っっ…！」

バタバタバタバタ！ブィッ、ブビィーーッ…

#瞳

「はあっはあっ…！」  
(やっとトイレ！！早くっ！もうだめっ漏れる漏れるもれちゃうっ！！トイレっトイレトイレといれええーっ！！！)

タッタッタッタッタッ…！ビュルっ…！！

#瞳

「ひっ…ふあああっ…！」  
(やっ！…で、出ちゃっ…！ まだ待って！！…と、トイレはっ！？……あった！あそこだっ！！)

ブリュッ…！！ブボボッ…！！タッタッタッタッタッ…！

#瞳

「やっあっ…！」  
(まだダメだっ…！もうちよっとっ…！ あとちよっと、がまんっしなきゃっ…！！)

タッタッタッタッタッ…！ブリュウッ…！ブボッ！…

#瞳

「ふっ…んんあっ…！」  
(あああっ！！もおダメっ！！出るでるでるでるっ！！勝手に出てるっ！！)

グリュルルルーっ！ブリュッ！！ブリュリュリュリュリュリューッ…！！！

#瞳

「やっ！あっあっあっあっ…！！」  
(あああああっ！！ダメだめだめだめええーっ！！！)

ボタっ、ボタタタっ…タッタッタッタッタッ…！！ベシャシャっ…ビチャっ…

ブリュブリュブリュブリュッ…ベシャっビシャビシャっバタバタバタバタッ…！ ギィッバタァン！！ガチャン！！ビチャビチャビチャっ…(床に下痢便を撒き散らしながら個室に駆け込む音)

#瞳

「はあ、はっ…んっ！！！」

ファサッ、ススッ！（下着をずり下ろす衣擦れ音）





ベチャンっ、ビシヤアー—ツ！ブリュッ！ブボボボボボボッ、ビチャボチャッ、ビチビチィィ!!!!…

#瞳

「はあっ、はあっ、はあ—っ、はああっ…はあ……はああ—…っ…」  
(ああ〜っ…やっちゃった…うんち…間に合わなかった…)

ブリュっ…ブリュリュリュリュ〜っ…プス…ブリュウウ…





#瞳

「はああ、はあ…はあ…うあ…」

(…パンツ泥々…床も、すごいことになってる…スカートまで…)

「ああー…っ…」

(脚も…靴も、靴下も…全部うんち塗れ……あと、ちょっとだったのに…私…この歳で…うんち、我慢できなかった…)

(…どうしよう…みんな待たせてるのに…これじゃ、バスに戻れない…)

「…はああーっ…どうしよう…」

\*

\*

\*



カラカラカラカラ、カラカラカラカラ……ザザザ…ザザザ…

カッカッカッカッ……コンコン…

#担任女教師

「有沢さん？大丈夫？？…間に合わなかったのね…」

#瞳

「…すいません…我慢…できません、でした…」

#担任女教師

「大丈夫よ…よくここまで頑張ったわね…辛かったでしょう…スカートとか大丈夫？結構汚れちゃった？」

#瞳

「…はい……汚してしまい、ました…すみません…」

#担任女教師

「いいのよ……じゃあ、いま着替えもってくるから」

#瞳

「…あ……はい……お願い、します…」

\*  
\*  
\*







#瞳  
「……」

#綾香  
「瞳…気にしちゃダメだよ？…私も…その…漏らしたこと…あるし…」

#瞳  
「…うん……」  
(みんなに、迷惑をかけてまで寄り道してもらったのに…その上、あんなにみんなを待たせてしまっ…しかも、こんな格好で戻ってきて……なんで…なんで、こんなことに…あと少しだったのに…あと少しだけ…我慢、できていれば……もう…今すぐ消えてなくなりたい……っ…)

～fin～

[バケツ脱糞ルート⇒](#)

[おもらし脱糞ルート⇒](#)

【バケツ脱糞ルート】

#瞳

「ふうううっ…ううっ…！」

プスッ…プススススス…ブイイッ…！

#瞳

「ふーっふーっ、うああ…」

(だめえ…みんないるのにつ…お、おならが…止まらないっ…！)

#綾香

「瞳、高速出口の看板だよ！もうちょっと、もうちょっとだから…頑張れ！」

#瞳

「はあはあ…ふうううっ…」

(もうちょっと…あと、少いでっ…トイレ、行けるっ…トイレで、思いっきり…うんちできるっ…早く…早くっ早くっはやくはやくうっ…！)

プっ…プリュっ…ギョルルルルル…ビュッ…

#瞳

「う、ふうーっふうーっ…！んんっ…！」

(やばいっ…！ちょっと出た、かも…早くう…！なんでもいいからお願いっ早くしてえ…！！出ちゃうっ！出ちゃうっでちゃううっ…！！)

#担任女教師

「有沢さん、もうすぐ着くから、あとちょっとだけ我慢よ」

#瞳

「ふうーっふうーっふうーっ…」

(まだ我慢…がまんっ、しなきゃっ…！もうすぐっ、できるからっ…トイレっ、行けるからあっ…！まだっ出るなっっ、出るなっでるなでるなあ…！あっ、あああ…っ…！)

ブウリッ！…プリリリリッ…ブッ、ブリュッ…！！

#瞳

「ひっ…ふあああっ…！」

(やっ！…で、出ちゃっ…！まだダメだってっ！もうちょっとだからあっ！！出るなっでるなでるなああーっ！！！！)

ブボッ…！！ブリュリュッ…！！

#綾香

「頑張れ！もうちょっとだよ！」

ギョルルル……グピィ～…

#瞳

「やっ、あぁっ…！」

(ダメだっ！もう我慢できないっ！！このままじゃ…！も、もう…これしかっ…！！)

ガタッ…ガザッ…《おもむろに立ち上がりバケツを手にする音》

#綾香

「えっ、瞳！？」

#瞳

「お、お願い…どいてっ…」

タッタッタッ…ゴトッ…

#瞳

(は、早くっ…出るでるでるでるっ！！)

ガサゴソ…

#瞳

「はぁ、はっ…んっ！！！」

ファサッ、スススッ！（下着をずり下ろす衣擦れ音）



ビュルルーっ！ブリュっ！！ブリュリュリュリュリュリューツ…！！

#綾香  
「っっ…！」

#瞳  
(やっ、音がっ！…ダメっもう、止められないっ…！！)

ブリュッブボボボボボボツ、ビチャボチャツ、ビチビチィィ!!!!…

#瞳  
「お願いっ…見ないでっ…聞かないでっ…っ…」

ブリュブリュっ…ボチャチャっ…ブリッ…ブィーッ…！





#瞳

「はあっ、はあっ…はあああっ…」  
(あ〜っ…やっちゃった…私…みんないるバスの中で…バケツに…うんち出しちゃった……や  
だっ、臭すぎるっ…！私の、うんちのニオイ…みんなに嗅がれちゃうっ…！)

#綾香

「…瞳……っ…」  
(うっ……ひどいニオイ…鼻が曲がりそう…)

#瞳

「はあ、はあ…ごめん…なさい…我慢…できなかった…」

#綾香

「…あっ、う、ううん…気にっ…しない…うぷっっ…！」  
(ダメっ…！！臭すぎて…吐きそう…！でもっ…あああっ…！！)  
「ふうっ…ご、ごめん、瞳…おぷっ…そ、それ…貸し、て…う、うえっ…」

ガザッ…

#瞳

「え…！？あっ、だめっ！！…ちょっっ…！！？」

#綾香

「おえっっ…！おげええええええええっっ…！！」  
ゲボオオオビチャチャアアツ…！





#瞳  
「っ…」

#綾香  
「ゲホっ、ゲホっ……はあ、はあ…うっぷ…」

#瞳  
「あ…う…」  
(綾香っ…私の、う、うんちの、ニオイで…そんなっ…バケツの中…あんな、近くでっ…いやあああっ…！！)

#担任女教師  
「あら…大村さんまでやっちゃったのね…二人とも大丈夫？これ、ペーパーよ」

#綾香  
「はあ…はあ…ひ、瞳…ごめん…ごめんね…そんなつもりじゃ…ううえっ…」

#瞳  
「うっ、ううっ…ごめんっ…なさい…うっ…ごめ…なさい…っ…」  
(もう死にたい…あとちょっとだったのに…みんなに、すごい音も聞かれて…こんなに臭いうんちしちやって…綾香にも……なんで…なんでこんなことに…っ…)

～fin～

[おもらし脱糞ルート⇒](#)

【おもらし脱糞ルート】

#瞳

「ふうううっ…ううっ…！」

プスッ…プススススス…ブイイッ…！

#瞳

「ふーっふーっ、うああ…」

(だめえ…みんないるのにつ…お、おならが…止まらないっ…！)

#綾香

「瞳、高速出口の看板だよ！もうちょっと、もうちょっとだから…頑張れ！」

#瞳

「はあはあ…ふうううっ…」

(もうちょっと…あと、少いでっ…トイレ、行けるっ…トイレで、思いっきり…うんちできるっ…早く…早くっ早くっはやくはやくうっ…！)

プっ…プリュっ…ギョルルルルル…ビュッ…

#瞳

「う、ふうーっふうーっ…！んんっ…！」

(やばいっ…！ちょっと出た、かも…早くう…！なんでもいいからお願いっ早くしてえ…！！出ちゃうっ！出ちゃうっでちゃううっ…！！)

#担任女教師

「有沢さん、もうすぐ着くから、あとちょっとだけ我慢よ」

#瞳

「ふうーっふうーっふうーっ…」

(まだ我慢…がまんっ、しなきゃっ…！もうすぐっ、できるからっ…トイレっ、行けるからあっ…！まだっ出るなっっ、出るなっでるなでるなあ…！あっ、あああ…っ…！)

ブウリッ！…プリリリリッ…ブッ、ブリュッ…！！

#瞳

「ひっ…ふあああっ…！」

(やっ！…で、出ちゃっ…！まだダメだってっ！もうちょっとだからあっ！！出るなっでるなでるなああーっ！！！)

ブボッ…！！ブリュリュッ…！！



#綾香

「頑張れ！もうちょっとだよ！」

ギョルルル……グピー～…

#瞳

「やっ、あぁっ…！」

(ダメだっ！もう我慢できないっ！！このままじゃ…！も、もう…これしかっ…！でもっ…！！)

……ガタッ…《おもむろに立ち上がる音》

#綾香

「えっ、瞳！？」

タッタッタッ…

#瞳

「はぁっ…はぁっ…せ、先生っ…停めて…運転手さんに、言って…すぐに、バスをっ…停めて、くださいっ…」

#担任女教師

「有沢さん…申し訳ないけど、ここでは安全に停まらないのよ…もう無理そうなら、やっぱりバケツにするしかないわね…」

#瞳

「バ、バケツは…嫌、です…お願いっ、します…と、停めてっ…あう…あっあっ…！」

ブリリッ！…ブリュリユツ…！

#担任女教師

「あ、有沢さん…！？…」

#瞳

(あぁあっ！！も、もうダメっ…！！出るでるでるでるっ！！！！)

ブリュっ！！グリョルルルっ！ブリュリユリユリユリユューツ…！！！！

#瞳

「やっ！あっあっあっあっっ…！！」

(あぁあぁあっ！！ダメだめだめだめえええーっ！！！！)

グリュリユウ…！！ボタっ、ベシャシャっ…ビチャっ…ブリュブリュブリュブリュっ…



「つつ…！」

「ふうっ…んんあっ…！」

「…ひ、瞳…うっ…」

「はあっ…はあっ…はあーっ…はああっ…はあ……はあああー…っ…」

(終わった…私っ…みんないるバスの中で…こんな臭いゲリうんちを…全部漏らしちゃった…)

「あららら…やっちゃったのね…」

「ううっ…ごめん…なさい…私…私い…っ…」

「いいのよ…よく頑張ったわね…辛かったでしょう…」

「うっ、ううっ…ごめんっ…なさい…うっ…ごめ…なさい…っ…」

\*\*\*

「……」

「瞳…気にしちゃダメだよ？…私も…その…漏らしたこと…あるし…」

「…うん……」

(もう死にたい…あと少しだったのに…バスの中であんなに臭い下痢を漏らしちゃって…みんなにすごい迷惑かけて…うつつ…もう…今すぐ消えてなくなりたい…)

~fin~